

みずほCustomer Desk Report 2022/08/19号(As of 2022/08/18)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	134.97 AUD/USD
TKY 9:00AM	134.97	1.0176	137.41	1.2050	0.6932
SYD-NY High	135.90	1.0193	137.64	1.2078	0.6969
SYD-NY Low	134.65	1.0080	136.59	1.1923	0.6899
NY 5:00 PM	135.90	1.0087	137.13	1.1936	0.6914

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,999.04	18.72	日本2年債	▲0.0900%	0.0000%
NASDAQ	12,965.34	27.22	日本10年債	0.1900%	0.0100%
S&P	4,283.74	9.70	米国2年債	3.2068%	▲0.0770%
日経平均	28,942.14	▲280.63	米国5年債	3.0315%	▲0.0197%
TOPIX	1,990.50	▲16.49	米国10年債	2.8841%	▲0.0173%
シカゴ日経先物	29,115.00	110.00	独10年債	1.0955%	0.0190%
ロンドンFT	7,541.85	26.10	英10年債	2.3165%	0.0305%
DAX	13,697.41	70.70	豪10年債	3.3550%	0.0640%
ハンセン指数	19,763.91	▲158.54	USDJPY 1M Vol	10.99%	0.05%
上海総合	3,277.54	▲14.98	USDJPY 3M Vol	11.06%	0.34%
NY金	1,771.20	▲5.50	USDJPY 6M Vol	10.50%	0.19%
WTI	90.50	2.39	USDJPY 1M 25RR	▲0.10%	Yen Call Over
CRB指数	290.33	1.46	EURJPY 3M Vol	11.93%	0.02%
ドルインデックス	107.48	0.91	EURJPY 6M Vol	11.61%	▲0.01%

東京	東京時間のドル円は134.97レベルでオープン。前日のFOMC議事要旨における、「いずれ利上げペースを減速する認識」との内容を受け、ドル売りが強まり134.73まで下落した。下落一巡後に135円台を回復した後は米長期金利が上昇する展開にドル買いが強まり、一時135.36まで上昇した後、135.20レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、135.20レベルでオープン。米金利につれて135円を挟んだ方向感のない推移だった。朝方135.42まで上昇するも、頭打ちとなるとその後はじりじりと下落し134.78レベルでNYに渡った。なお本日ノルウェー中銀が予想通り0.5%利上げし政策金利を1.75%に、トルコ中銀が予想外に1%利下げし政策金利を13%とした。トルコリラは1%弱下落した。
ニューヨーク	海外市場のドル円は135円ちょうど付近でスタート。東京時間では134.73まで下落する場面もあったが、前日同様売りは長続きせず、すぐに買い戻され135円台を回復。欧州時間は135.30近辺でもみ合い。早朝は米短期金利低下を眺め売りが強まり、134.78レベルでNYオープン。朝方はオープン前の流れを引き継ぎ、134.65まで安値を更新し、閑散取引の中、134円台後半で荒い値動きとなった。その後、米8月フィラデルフィア連製造業景気指数が予想を上回り、買いで反応すると135円台前半まで反発。欧州通貨に対するドル買いがドル円に波及したこともあいまって135.40近辺まで上昇。午後は前日高値の135.50を上抜けるとストップロス巻き込みながら買いが加速し135.90まで上昇。買い一巡後も高値に張り付いた展開が続く。結局、135.90でクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.01台後半でもみ合いが続き、1.0177レベルでNYオープン。朝方は米経済指標の結果を受けてドル買いが進むと1.0121まで下落。売り一巡後、1.0139まで戻すが、午後は欧州天然ガス先物が終値ベースで過去最高値が更新する等のユーロ売りの材料が意識され、1.0080まで売り込まれた。終盤は小幅値を戻すも、上値は重く、結局、1.0087レベルでクローズ。

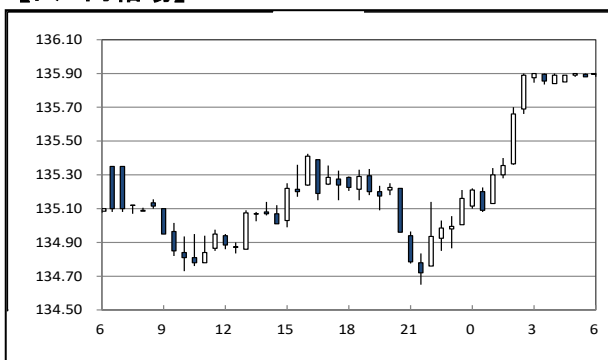
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月18日	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)・確報	7月 8.9%/0.1%	8.9%/0.1%
	18:00	欧 コアCPI・確報	7月 4.0%	4.0%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	8月 250k	264k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	8月 6.2	-5.0
	23:00	米 中古住宅販売件数	7月 4.81m	4.86m

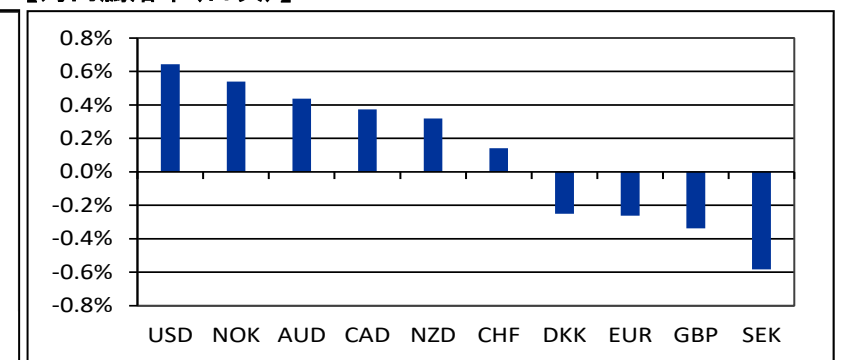
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月19日	15:00	英 小売売上高(含自動車燃料、前年比/前月比)	7月 -3.3%/-0.2%	-5.8%/-0.1%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前年比/前月比)	7月 -3.1%/-0.3%	-5.9%/0.4%
	15:00	独 PPI(前年比/前月比)	- 31.8%/0.7%	32.7%/0.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	134.80-136.80	1.0000-1.0200	136.00-138.00

【マーケット・インプレッション】

昨日は多くの通貨でドル高が進む中、ドル円も上昇する展開。前日のFOMC議事要旨の内容を受けてか、上値が重く推移する時間帯もあったが、米金利の上昇を手掛かりに底値は堅く推移。米8月フィラデルフィア連銀製造業指数が予想を上回る結果となると勢いが強まり、ポンドやユーロを中心としたドル買いに、ドル円も前日の高値を抜けると135.90まで上昇。その後も高値圏での推移を続け、135.90でクローズした。本日のドル円も底堅い推移を予想する。特段材料視されるような経済指標の発表等はないものの、材料がないが故に、金融緩和継続を背景に売りやすい円、金利が堅調であり指標の数値も良く買いやすいドルに取引が集中すること考えられる。ただ来週にはジャクソンホールも控えており上値追ひも限定的か。一旦の目線は日足の一目均衡表雲の上限となる136.30近辺。そこを抜ければ更なる上昇、止まれば現在の水準での値動きを想定する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・西